

# オーディオリモートコントローラー

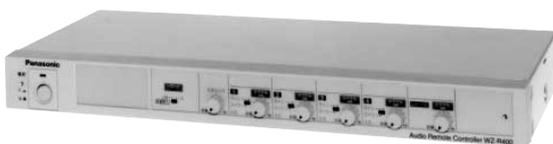
品番 WZ-R400

## 取扱説明書 工事説明付き

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

## もくじ

商品概要 .....	2
付属品をご確認ください .....	2
安全上のご注意 .....	2
使用上のお願い .....	4
設置上のお願い .....	4
<hr/>	
各部の名前と働き .....	5
操作のしかた .....	6
操作を始める前に .....	6
リモートコントロールする場合 .....	6
ミキサーとして使用する場合 .....	6
<hr/>	
接続のしかた .....	7
接続例 .....	7
音声ケーブルについて .....	7
リモートコントロールパネルの接続 .....	8
使用線材について .....	8
1か所で4入力同時に音量を調節する場合 （リモートコントロールパネルを1台使用） .....	8
複数の場所で音量を調節する場合 （リモートコントロールパネルを複数台使用） .....	9
システム例 .....	10
入力1～4の系統を独立して音量調節する .....	11
誤操作を防止する .....	11
スタッキングについて .....	12
ラックマウントのしかた .....	12
<hr/>	
故障と思われましたら .....	13
仕様 .....	14
保証とアフターサービスについて .....	15

このたびは、パナソニックオーディオリモートコントローラーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

## 商品概要

- 本機で最大4入力の音量を調節できます。
- 音量をリモートコントロールするためのVCA (Voltage Controlled Amplifier) 回路を内蔵しています。
- リモートコントロールパネル (WZ-R410 : 別売り) を使用すれば、離れた場所から音量を調節できます。
- 1入力に対してリモートコントロールパネルを1台接続する場合 (単独使用の場合) 最大4台まで接続できます。  
1入力に対してリモートコントロールパネルを直列に複数台 接続することもできます。直列に接続する場合、リモートコントロールパネルに優先順位を付けて操作することもできます。
- マイクロホンとライン入力機器 (ワイヤレス受信機など) を切り替えて入力できます。
- 音量調節の他にマイクロホンミキサーやラインミキサーとしても使用できます。
- マイクロホンミキサー (WR-420A) やオーディオミキサー (WR-430) などと併用して使用できます (レピータ入力に接続)。

## 付属品をご確認ください

ラックアングル..... 2	アクリルカバー..... 1
スタッキングアングル..... 2	アクリルカバー取付用スタッド (L8,L9)..... 各1
ラックアングル取付ねじ (M4×10)..... 4	アクリルカバー取付ねじ (アクリルカバー取付済み)..... 2
2芯シールドケーブル (1.6m)..... 1	取扱説明書 (本書)..... 1
束線バンド..... 1	保証書..... 1

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ⚠ 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

### 異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに分電盤の電源を切って、販売店にご連絡ください。

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがあるなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

### 不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

### ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因となります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

# 使用上のお願い

---

## 電源について

本機は電源スイッチが「切」で、かつ電源表示灯が消えていても電源から遮断されているとは限りません。電源から遮断するときは、本機の「電源プラグ」を抜くか、本機を接続している「電源制御ユニットの電源スイッチ」または「分電盤のブレーカー」を切ってください。下段「設置上のお願い」を必ずお読みください。

## 使用温度範囲は

-10 から+50 です。この温度範囲外で使用すると、内部の部品に悪影響を与え、誤動作や故障の原因となります。

## お手入れについて

電源を切り、乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布に浸み込ませ、よく絞り軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

# 設置上のお願い

---

## 電源について

AC100V、50Hzまたは60Hzに、必ず遮断装置を介して接続します。

次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源制御ユニットWU-L61、WU-L62、WU-L67に接続する。
- 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
- 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源の全ての極が遮断できるものを使用してください。

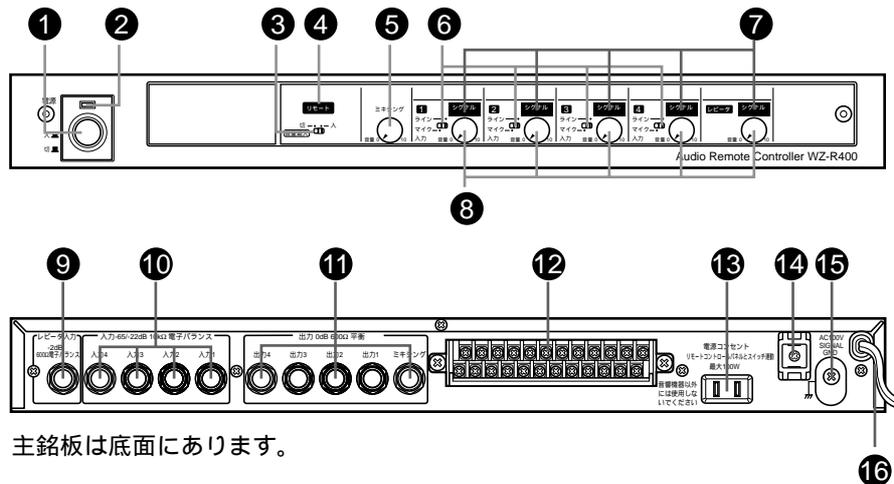
詳しくは販売店にご相談ください。

## 設置場所について

故障の原因となりますので次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口の近くは避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置しないでください。

# 各部の名前と働き



主銘板は底面にあります。

## ①電源スイッチ [電源 入/切]

電源を「入/切」するスイッチです。「入」にすると電源表示灯が点灯します。

## ②電源表示灯

電源スイッチが「入」のとき点灯します。

## ③リモートスイッチ [リモート 入/切]

別売りのリモートコントロールパネル (WZ-R410) で音量調節や放送制御するとき「入」にします。「入」にするとリモート表示灯が緑色に点灯します。リモートコントロールパネルで音量調節や放送制御を行わない、または接続しないとき「切」にします。「切」にすると音量制御 (VCA) は最大となります。

## ④リモート表示灯 (緑)

リモートスイッチが「入」のとき点灯します。

## ⑤ミキシング音量つまみ [ミキシング 音量]

各機器からの音をミキシングして出力するときの音の大きさを調節します。右に回すと音が大きく、左に回すと音が小さくなります。

## ⑥入力切替スイッチ [入力 ライン/マイク]

各入力端子に接続した機器に合わせて切り替えます。例えばワイヤレス受信機を接続したときは「ライン」に、マイクを接続するときには「マイク」にします。

## ⑦シグナル表示灯 (緑)

入力端子に音声が入力されると点灯します。(点灯: -30dB以上)

## ⑧音量つまみ [入力1~4、レピータ 音量]

音の大きさを調節します。右に回すと音が大きく、左に回すと音が小さくなります。

## ⑨レピータ入力端子

[レピータ入力 -2dB 600 電子バランス]

マイクロホンミキサー (WR-420A) やオーディオミキサー (WR-430) などを接続します。この端子に入力した音がミキシング端子に出力されます。

## ⑩入力端子

[入力 -65/-22dB 10k 電子バランス 入力1~4]

マイクやワイヤレス受信機などを接続します。入力1~4に入力した音が入力1~4端子に出力されます。また、各入力端子に入力した音はすべてミキシングされてミキシング端子から出力されます。

## ⑪出力端子

[出力 0dB 600 平衡 出力1~4、ミキシング]

呼び出しアンプ、卓上アンプ、防災アンプの音声入力端子と接続します。

## ⑫制御端子

リモートコントロールパネルと接続します。外部制御出力、電源制御は制御入力端子のあるアンプや電源制御ユニットと接続します。

## ⑬電源コンセント [電源コンセント 最大100W]

次の場合、接続した機器にAC100Vを供給します。消費電力が100Wまでの機器を接続できます。

- リモートコントロールパネルの放送スイッチを「入」にしたとき。
- リモートスイッチが「切」のとき。

## ⑭ケーブルクランプ

束線バンド (現地調達) で制御ケーブルを固定するときに使います。

## ⑮アースねじ [ SIGNAL GND ]

ラックなどのアースへ接続します。

## ⑯電源コード

AC100V 50/60Hzが常時出力される電源制御ユニットや電源コンセントに接続します。

# 操作のしかた

## 操作を始める前に

操作を始める前に各機器の接続が完了していることを確認してください。また、入力切替スイッチの設定が接続した機器と合っていることを確認してください。

## リモートコントロールする場合

本機にリモートコントロールパネルが接続されている必要があります。

- (1)本機の電源スイッチを「入」にする。

電源表示灯が点灯します。

- (2)リモートスイッチを「入」にする。

リモート表示灯が点灯し、リモートコントロールパネルで操作できるようになります。

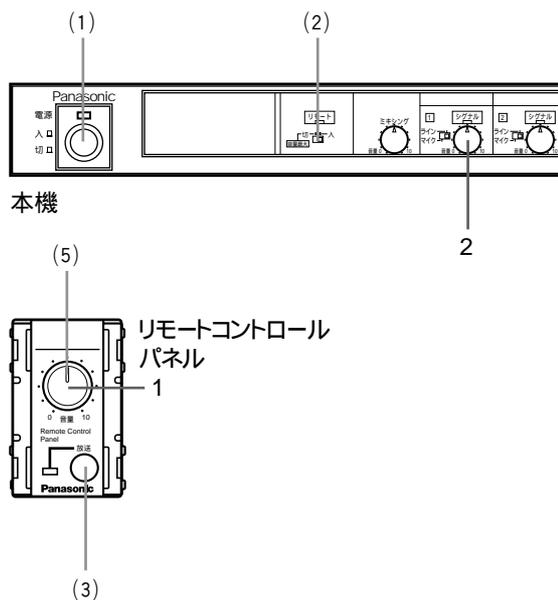
- (3)リモートコントロールパネルの放送スイッチを押す。

リモートコントロールパネルで放送制御ができるようになります。

放送スイッチを押すと該当する放送設備機器の電源が入り、放送エリアが選択されます（背面の外部制御出力端子と電源制御端子がメイクされます）。

- (4)接続した機器を操作し、放送を開始する。

- (5)リモートコントロールパネルの音量つまみで、好みの音量に調節する。



はじめて操作する、または接続した機器を変更したときは、音量を調節するために次の操作を行ってください。

1. リモートコントロールパネルの放送スイッチを押す。
2. リモートコントロールパネルの音量つまみを中央に合わせる。
3. 本機の音量つまみを操作し、シグナル表示灯が点灯を始める位置に合わせる。
4. 同様に他のリモートコントロールパネルと本機の音量つまみを調節する。

ライン入力時に入力・出力を同レベルにする場合は、リモートコントロールパネルの音量つまみを中央にし、本機の音量つまみを7目盛りにしてください。調節後、本機の音量つまみを操作できないように、アクリルカバーを前面に取り付けてください（11ページ参照）。

注：音量はリモートコントロールパネルの音量つまみで調節してください。本機の音量つまみでは調節しないでください（リモートコントロールパネル操作時に突然大きな音が出たり、音が出なかったりするのを防止するためです）。ただし、レピータ入力端子に接続した機器をリモートコントロールパネルで放送制御したり音量を調節したりすることはできません。

## ミキサーとして使用する場合(リモートコントロールを行わない場合)

- (1)本機の電源スイッチを「入」にする。

電源表示灯が点灯します。

- (2)リモートスイッチを「切」にする。

リモート表示灯が消灯していることを確認してください。リモートスイッチを「切」にするとリモートコントロールパネルからは操作できません。また、本機の音量制御(VCA)は最大となり、背面の電源制御端子がメイクされます。電源コンセントにAC100Vを供給します。

- (3)音量を調節する。

本機の音量つまみで好みの音量に調節します。

# 接続のしかた (工事は販売店に依頼してください。)

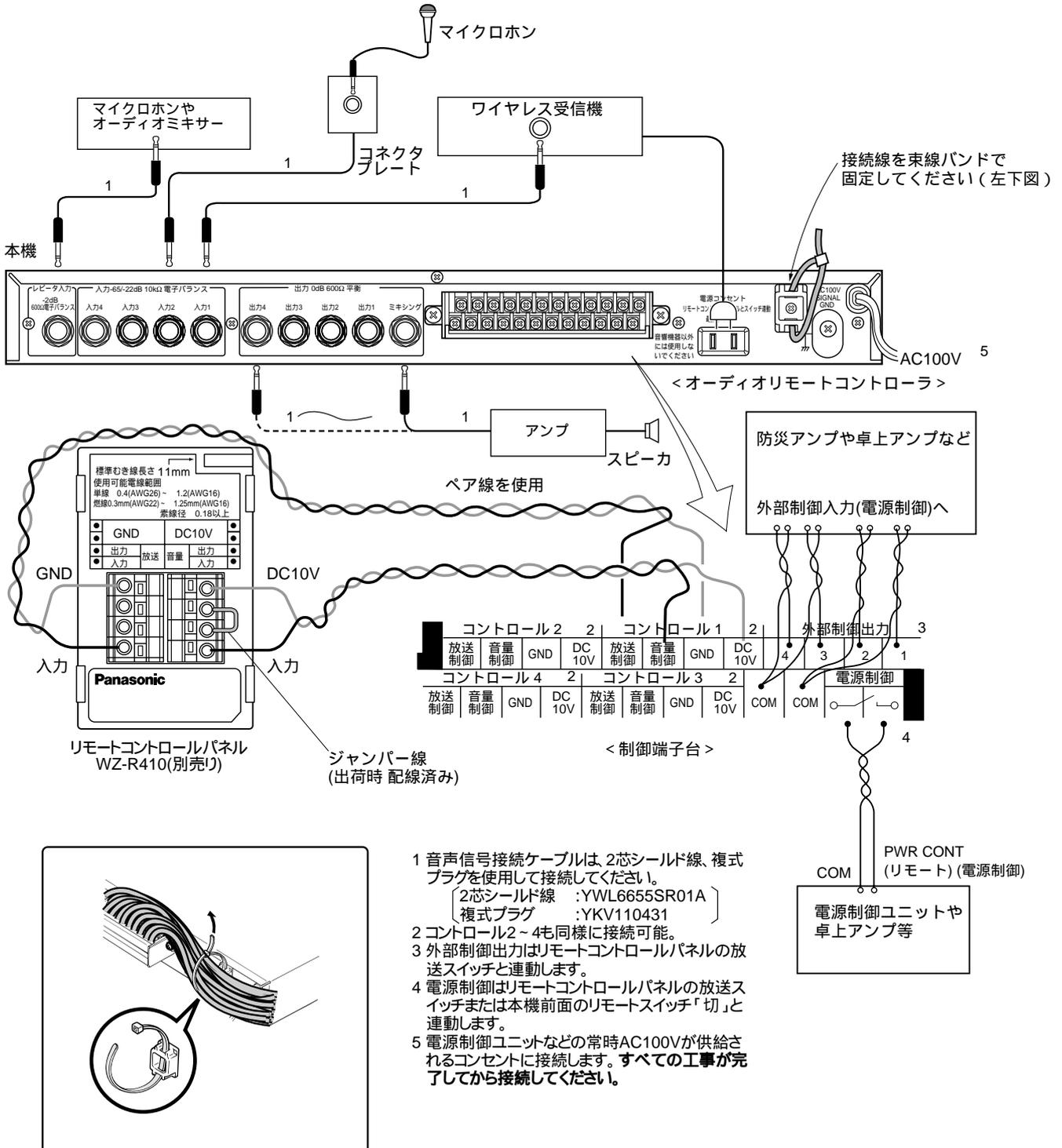
## 接続例

### 音声ケーブルについて

音声信号を接続する場合、次のケーブル、またはプラグを別途ご用意ください。

2芯シールド線 (推奨品番YWL6655SR01A) : 本機に1本付属しています。

複式プラグ (推奨品番 : YKV110431)



取扱説明  
工事説明

# 接続のしかた

## リモートコントロールパネルの接続

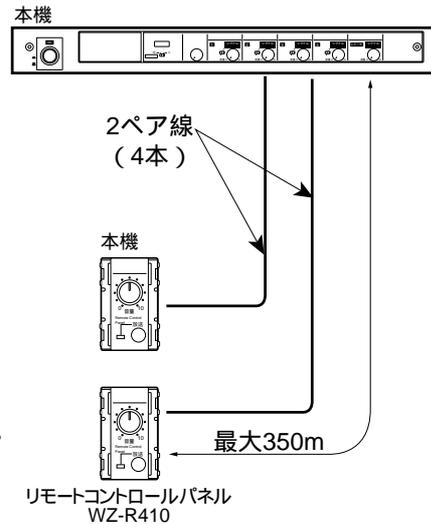
### 注意

- リモートコントロールパネルと本機間の最大配線距離は350mです。
- 配線を行う際、AC電源やスピーカー出力線（強電線）からできるだけ離して配線してください。強電線の側に配線するとノイズが発生することがあります。

### 使用線材について

次に示す対型ケーブルの単線またはより線をご使用ください。

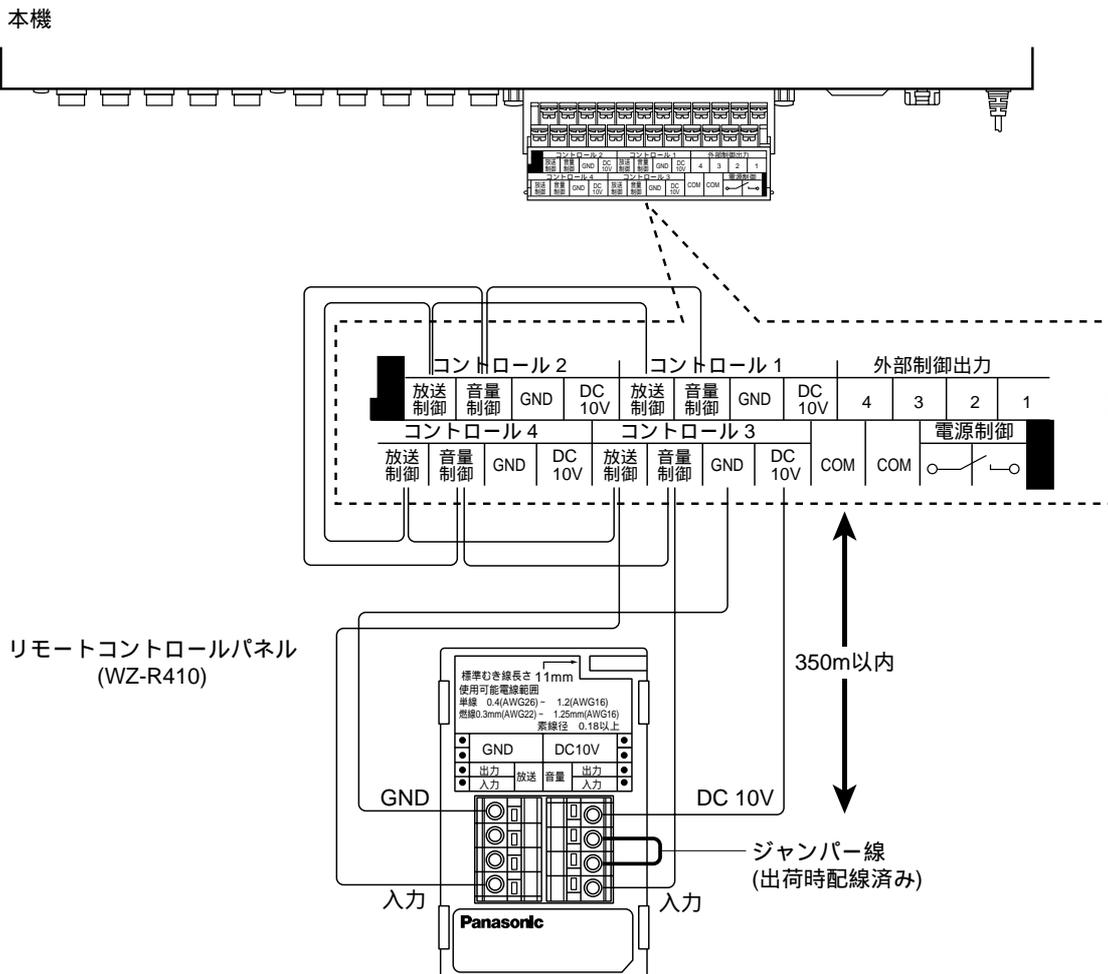
- 単線： 0.4mm (AWG26) ~ 1.2mm (AWG16)
- より線： 0.3mm<sup>2</sup> (AWG22) ~ 1.25mm<sup>2</sup> (AWG16)



## 1か所で4入力同時に音量を調節する場合（リモートコントロールパネルを1台使用）

下図のように接続します。

リモートコントロールパネル1台で入力1～4に接続した機器を同時に調節できます。



## 複数の場所で音量を調節する場合（リモートコントロールパネルを複数台使用）

複数のリモートコントロールパネルを直列に接続することによって、優先順位を付けた運用が可能になります。優先順位は本機に最初に接続されているものが一番高くなり、逆に遠くなるほど低くなります。優先順位が高いリモートコントロールパネルで放送を行っている間、優先順位が低いリモートコントロールパネルからは操作できません。

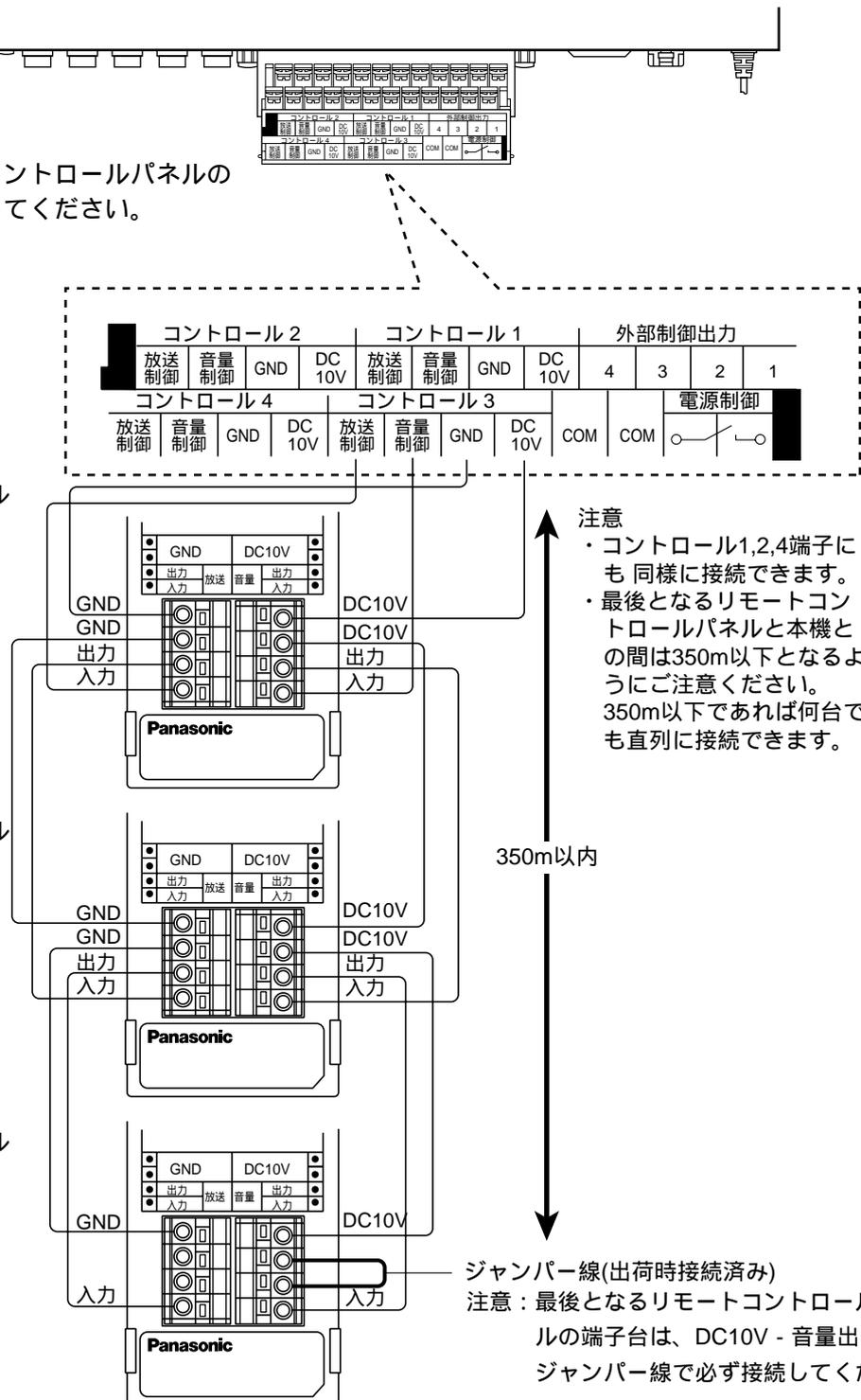
本機

放送終了後はリモートコントロールパネルの放送スイッチを必ず切ってください。

リモートコントロールパネル  
1台目（優先順位1）

リモートコントロールパネル  
2台目（優先順位2）

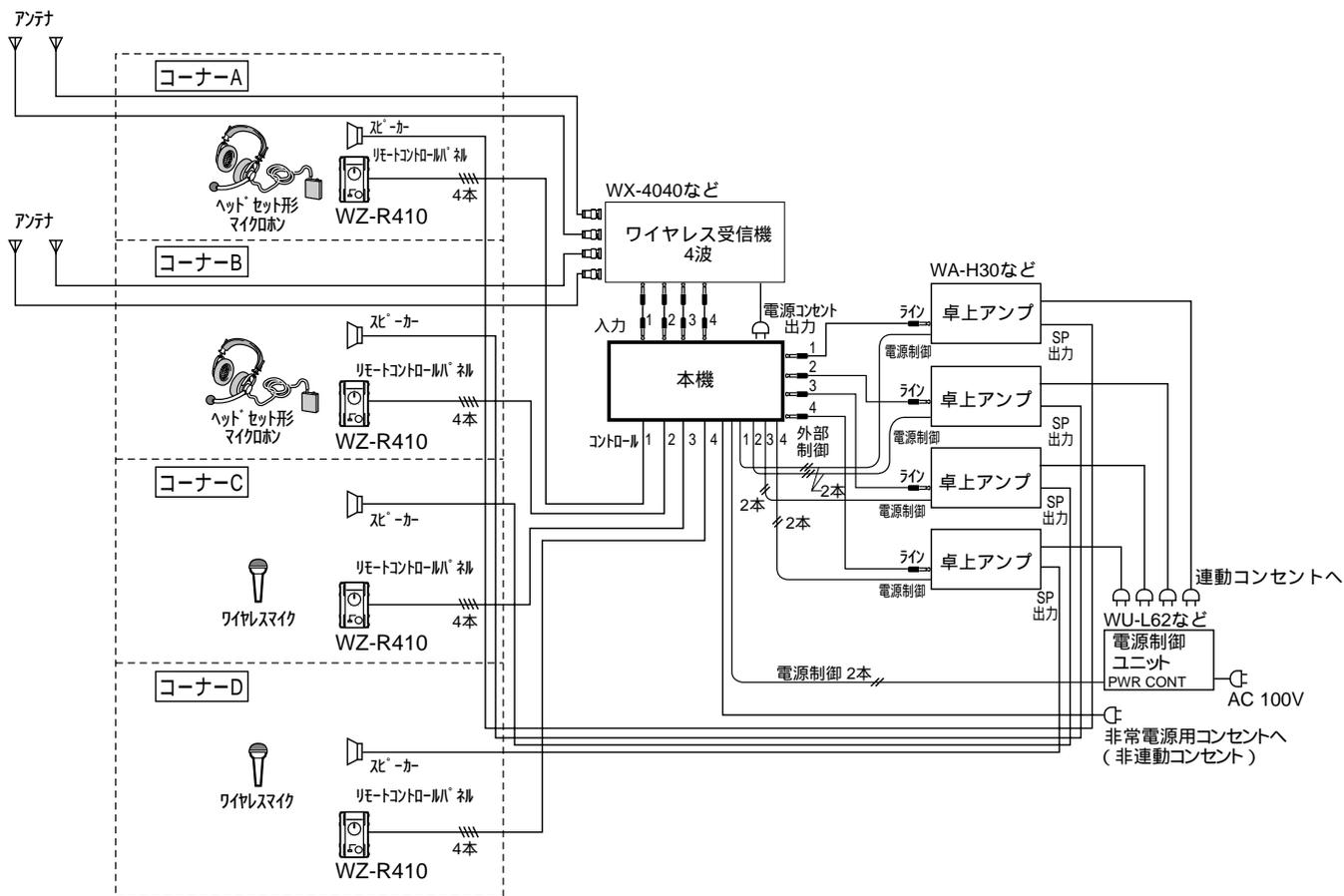
リモートコントロールパネル  
n台目（優先順位n）



# 接続のしかた

## システム例

4つのコーナーにあるワイヤレスシステムを一括管理する場合のシステム例です。



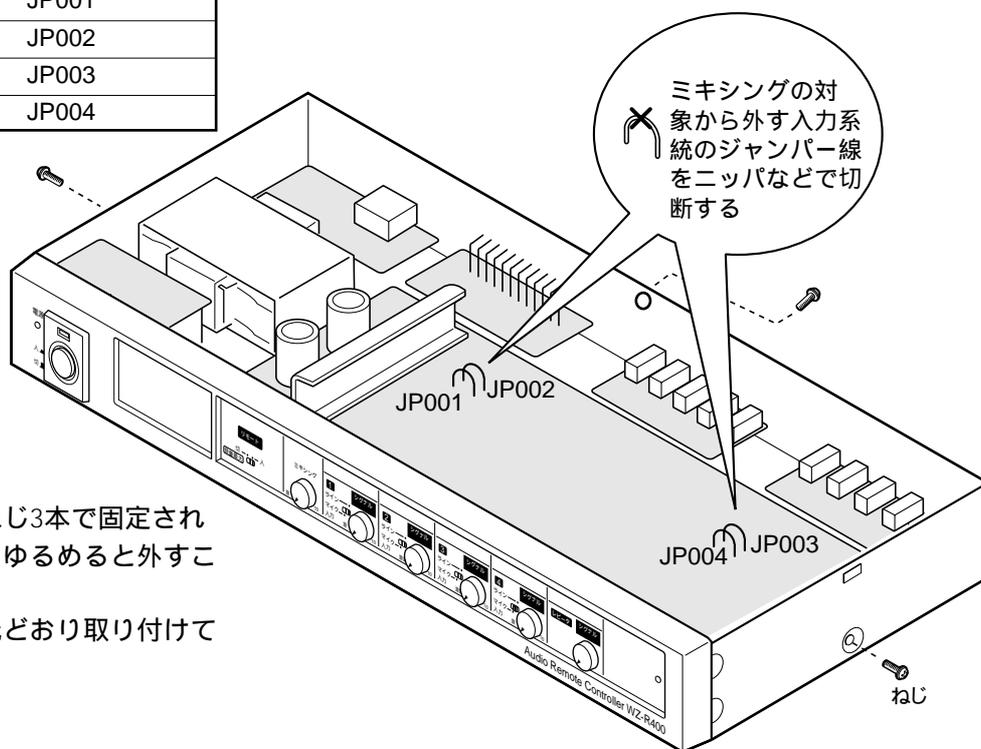
## ミキシングする入力系統を選択する場合

工場出荷時、ミキシング出力からは入力1~4に入力した音がミキシングされて出力されます。各入力ごとにミキシングの対象にする（ミキシングする）またはしない（ミキシングしない）を選択できます。入力系統をミキシングの対象から外す場合、天板を外し、下表を元に該当するジャンパー線（JP001~JP004）を切断してください。

なお、JP001~JP004すべてを切断すると、ミキシング出力はレピータ入力のみとなります。

注：切断したジャンパー線を元に戻すことはできません。機器の接続を十分に確認してから作業をしてください。

入力	ジャンパー線
1	JP001
2	JP002
3	JP003
4	JP004



天板は側面と背面のねじ3本で固定されています。このねじをゆるめると外すことができます。作業終了後、天板を元どおり取り付けてください。

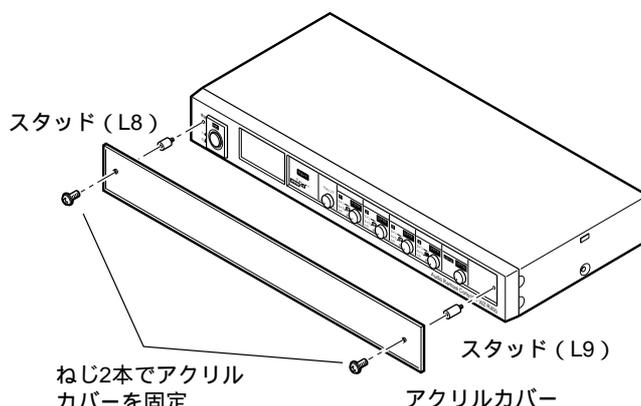
## 誤操作を防止する

本機の前面に付属の亚克力カバーを取り付けることで誤操作を防止できます。

亚克力カバーは次の手順で取り付けます。

**注意：亚克力カバーを取り付けると緊急時に電源スイッチの「入切」ができなくなります。**

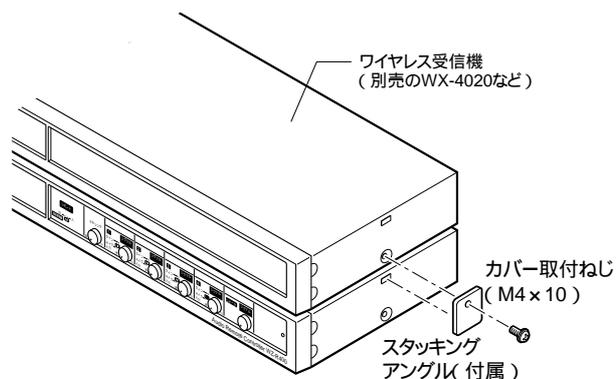
- ① 本体にスタッド（付属品）をマイナスドライバーで取り付ける。  
スタッドの長さは左右で異なります。
- ② 亚克力カバー（付属品）をねじで固定する。



# 接続のしかた

## スタッキングについて

- ①上になる機器（右図ではWX-4020）の両側面を固定しているカバー取付ねじ（M4×10）を外す。
- ②本機をワイヤレス受信機（WX-4020）などとスタッキングアングル（付属）で固定する。

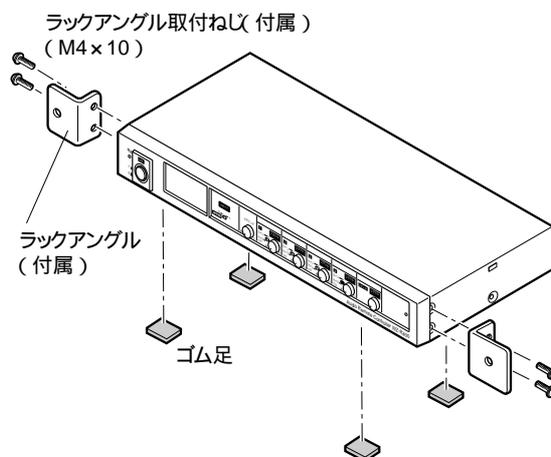


## ラックマウントのしかた

- パワーアンプと同じラックにマウントする場合は本機との間を1U以上あけてください。
- EIA規格相当のラックにマウントすることができます。

次の手順で取り付けてください。

- ① ゴム足を4つ外す。
- ② ラックアングルを付属のねじで取り付ける。
- ③ ラックに取り付けます。



# 故障と思われましたら

症 状	点検項目	処 置
電源スイッチを「入」にしても電源が入らない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源プラグが連動コンセントに接続していませんか？	電源プラグをコンセントに差し込みます。 常時100Vが供給されるコンセントに接続します。
リモートコントロールパネルの放送制御スイッチを押しても放送表示灯が点灯しない。	本機の電源スイッチが「切」になっていませんか？	電源スイッチを「入」にします。
	本機のリモートスイッチが「切」になっていませんか？	リモートスイッチを「入」にします。
	他のリモートコントロールパネルの放送スイッチが「入」になっていませんか？	他のリモートコントロールパネルの放送スイッチを「切」にします。 補足：リモートコントロールパネルを直列に複数台接続している場合、他のリモートコントロールパネルで制御している間、操作はできません。
リモートコントロールパネルで音量の調整ができない。	本機の音量つまみを絞っていませんか？	コントロールパネルの音量つまみを中央にし、本機の音量つまみを調節してシグナル表示灯が点灯し始める位置に合わせてから、再度操作します。
	リモートコントロールパネルの接続のしかたが間違っていないですか？	正しく接続されていることを確認してください。(7~9ページ参照)
音が歪む。	本機の音量つまみが最大になっていませんか？	コントロールパネルの音量つまみを中央にし、本機の音量つまみを調節してシグナル表示灯が点灯し始める位置に合わせてください。
	本機のリモートスイッチが「切」になっていませんか？	リモートスイッチを「入」にしてください。 補足：リモートスイッチを「切」にするとVCAによる音量制御が最大となるため、音が歪むことがあります。
	入力感度切替スイッチの設定に誤りはありませんか？	ワイヤレ受信機などを接続しているときに、入力感度切替スイッチを「マイク」にすると音が歪みます。ラインに切り替えてください。

# 仕 様

電 源	AC 100 V 50 / 60Hz
消 費 電 力	16 W
使 用 温 度 範 囲	-10 ~ +50
入 力 回 路	入力1~4 : マイク - 65 dB / ライン - 22 dB切換、10 k $\Omega$ 、電子平衡大型複式ジャック レピータ : -2 dB、600 $\Omega$ 、電子平衡、大型複式ジャック
出 力 回 路	出力1~4 : 0 dB 600 $\Omega$ 、平衡、大型複式ジャック ミキシング : 0 dB 600 $\Omega$ 、平衡、大型複式ジャック
周 波 数 特 性	50 Hz ~ 20 kHz - 3 $\pm$ 2 dB (ライン入力にて)
歪 率	0.1 %以下 (ライン入力にて)
S / N	72 dB以上 (ライン入力にて)
外部コントロール減衰量	80 dB以上 (ライン入力にて 出力1~4)
表 示	シグナル表示灯 (-30dBにて点灯) $\times$ 5入力
コントローラ制御入力	4回路、ねじ端子台 (DC10V、GND、音量、放送SW)
リモート制御出力	4回路、ねじ端子台、リレーメイク接点、DC 30 V 1 A
電 源 制 御 出 力	1回路、ねじ端子台、リレーメイク接点、DC 30 V 1 A
連 動 コ ン セ ン ト	1個、最大AC 100 V 1 A (リモートスイッチ「切」またはリモートコントロールパネルWZ-R410の放送スイッチと連動)
寸 法	420 (幅) $\times$ 44 (高さ) $\times$ 176 (奥行き) mm
質 量	3.0 kg
仕 上 げ	パネル部AVアイボリー色 (マンセル7.6Y6.8 / 0.8近似色)

# 保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあとは保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## 修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

## 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、オーディオリモートコントローラーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

**便利メモ**（おぼえのため、記入されると便利です。）

お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日	品番 <b>WZ-R400</b>
販 売 店 名	☎ ( ) -	

**松下電器産業株式会社**  
**松下通信工業株式会社 AVシステム事業部**

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

NNo1198-2020

A8QA5119CN